

「学びの変革」指導展開例

<基本情報>

- ◇教育課程 音楽科
- ◇学年 小学部 第5学年(2名)
- ◇单元名 「夏の歌とリズム」
- ◇単元目標
 - 夏の歌や曲を通して教師や友達と表現活動を楽しむことができる。(音2(2))
 - 手遊び・リズム遊びで身体を意識したり, 期待感をもったりすることができる。(音2(3))
- ◇本時の目標
 - ・ 音楽に合わせて, 身体を動かしたり期待感をもったりする。
 - ・ 好きな楽器を選んだり, 片付けをしたりする。
- ◇児童の実態 知的障害と身体障害を併せ有する児童A, 知的障害のある児童B。

<学習過程(抜粋)>

学習活動	指導上の留意点		
	A	B	全体
1 導入 ・はじめの挨拶	○指導者の方へ視線を向けさせる。「お」と初めの言葉だけ	○手を体の横に伸ばして姿勢を正すよう, 手本を示したり,	○音楽の始まりを意識できるよ
5 手遊び「ずいずいっころぼし」をする。	① 児童が, リーダーを行う場面を設定する。	リズムに合わせて, 手を動かすことができる。 ○指導者がリズムよく歌を歌う。(T1)	○初めに指導者がリーダーをして, やり方を提示する。
6 合奏「おもちゃのチャチャチャ」をする。	2~3回の質問に対し, 好きな楽器を一貫して答えることができる。 ○続けて質問する。(T1)	② 好きな方を選ぶ場面を設定する。	○楽器を鳴らす前に, 言葉で合図をしたり, 大きな動きで手本を示したりする。
7 本時の振り返り	③ 目標について, 活動を振り返り, 自分の言葉で発表する。	目標を振り返り, 発表することができる。 ○児童の振り返りを引き出すような質問をする。(T1)	○初めに児童に考えさせた後, 指導者から評価する。

児童に活動の見通しがもてるように, 本題材では, 授業の流れを一定にしてきた後, 児童がリーダーの役割を考え, やってみる場を設定した。このことにより, 他の場面においても, 児童に恥ずかしい気持ちがありながら, 自分からやろうとする態度が見られ, 汎化につながりつつある。